令和2年度第3回浜田市環境清掃対策審議会会議録

【日時】令和2年11月18日（水）

午後13時30分～15時50分

【会場】浜田市立石見公民館

 1　市民生活部長あいさつ

 2　会長あいさつ

　　【出席状況】委員出席　9名　　委員欠席　1名　　事務局出席　5名

　　　　　　　　日本水工設計株式会社　2名

 3　審議事項

1)　ごみ収集カレンダーの形状変更について

　ごみ収集カレンダー資料に基づき説明

　結　果　　ごみ収集カレンダーの形状決定にあたり、審議会委員の意見を参考とすること。

【質　問】　自治区の表現はどうなるか。

【事務局】　担当課に確認し掲載いたします。

【質　問】　ごみカレンダーに、ごみ分別アプリのQRコードを入れることは可能か。

【事務局】　アプリ導入が間に合わないため、来年度カレンダー掲載には間に合いません。

【意　見】

・段階的に形状を変えることにより、市民にも理解してもらえるのではないか。

・外国語や必要な項目については、できるだけ大きな表示にしてほしい。

・カレンダーに掲載できない内容は、市民の皆さんにごみ分別早見表を活用していただきたい。

・「A3判12カ月表示」は小さいが取り外しをしなくても良いし、高齢の方にも慣れていただけると思う。「A3判片面6カ月の両面」は、雑紙(ざつがみ)等の表示があり、転入された若い方や学生などのためにも良いと思う。今後、他市町村のように市民のみなさんも慣れていただけると思う。

2）第3次浜田市一般廃棄物処理基本計画について

　第3次一般廃棄物処理基本計画（案）に基づき説明

〇ごみ処理基本計画について

【質　問】　おもちゃの病院はどこにあるか

【事務局】　子育て支援センターにあります。

【質　問】　リサイクルセンターでは事業所のペットボトル容器の処分を行っていたが、産業廃棄物は市では収集・処理しないのではないか。

【事務局】　市の収集とは別に、組合員が収集した産業廃棄物処理の処理も行っています。また、緩和策として収集している事業所の少量の排出物もリサイクルセンターでは処理しています。

【質　問】　一人当たりのごみの排出量が平成28年と令和元年を比べると増加しているが、現状維持よりごみを減らす計画にすべきである。一人当たりのごみの排出量は、県内市町村の平均値程度まで削減してほしい。

【事務局】　検討します。

【質　問】　最終処分場は、今後どれくらい使用可能か。

【事務局】　30年以上の余裕はあると思われます。

【質　問】　幼稚園や保育所へ環境教育、教材はどのようなものか。

【事務局】　エコライフ推進隊のなかで読み聞かせやエコバックの作成などを行っていますので、計画に記載したいと思います。

【意　見】

・どこの部署がどのような施策を立てているかわかるようにした方が良い。

〇生活排水計画について

【意　見】

・消費者問題研究協議会においても、石鹸配布やエコたわしを作る環境に配慮した活動をしているので計画に記載してほしい。

4　報告事項

1)　その他

・パブリックコメント終了後の審議会を2月頃に計画している。

5　その他

　なし

以上